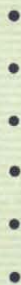


Precision Bass

'57 Vintage Precision Bass



'62 Vintage Precision Bass



世界初のソリッドボディ・エレクトリックベース“プレジジョン”。その最初のモデルチェンジは、1954年のコンフォートボディへの移行とサンバーストフィニッシュの導入にありました。しかし、この偉大なるベースの歴史を語る上でこの時の変化はさほど重要ではなく、何よりも重要なのは1957年のモデルチェンジと'62年の最終的な完成に大きくあります。

'57年のモデルチェンジ、それはスプリット・ピックアップの搭載。今なお変わることなく受け継がれている1"×2"の小さなピックアップは2個1組で、1・2弦側用と3・4弦側用とが互い違いに取り付けられ、1本の弦に対して2個のポールピースが割り当てられるようになっています。

これによって振動の大きいベースの弦の動きを確実にキャッチ出来、さらにこの2個1組のピックアップはそれぞれのコイルが逆巻で逆極のマグネットを持たせ、これをシリーズワイヤリングすることでハムキャンセリング効果をも獲得した画期的なものでした。

このピックアップによりプレジジョンベースは一応の完成を見たと言っても良く、その後、フィニッシュやピックガードなどの細かな部分で変化し、ローズウッド・フレットボードの採用、そしてその貼り方の確立を最後に、ベース史上揺るぎない地位を築くことになるプレジジョンベースは事実上の完成に至りました。1962年、開発プロジェクトがスタートしてから12年の年月が費やされました。今、シリーズにある2種のプレジジョンはこうした完成度の高い時期のモデルをリイシューしたものです。

Pickups

1 Split single-coil (Series-wired, diametrically phase)

Controls

1 Volume, 1 Tone

Scale Length

34" (863.0mm)

Fretboard

Maple ('57), Rosewood ('62)

Frets

20 Vintage style

Radius

7.25" (184.2mm)

Body Material

Alder

Colors

803, 806, 841 ('57)

800, 806, 841 ('62)

